

大江宏 建築

梅若能楽堂と 旧梅若邸の 未来を 考える 序破急

序

見学・トークイベント

11月2日

地域・文化資産としての 梅若能楽堂・旧梅若邸

●梅若能楽堂見学会 **13:00~**

●トークイベント **16:00~**

藤原徹平 | フジワラテッペイアーキテクツラボ主宰
横浜国立大学 准教授

梅若幸子 | Umewaka International 代表取締役社長

藤本貴子 | 法政大学デザイン工学部建築学科

新堀 学 | 住宅遺産トラスト理事・新堀アトリエ主宰

見学・トークイベント

**2026年
1月24日**

大江建築から考える 場をつくる営み

松山隆之 | 能楽師
一般社団法人 梅若実文庫 理事

飯石 藍 | 公共R不動産 / 株式会社nest

辻 琢磨 | 辻琢磨建築企画事務所代表

物井由香 | なかなかの katomonoi

城 李門 | なかなかの Studio Cove LLC.

中野区に建つ梅若能楽堂(1961)は、のちに国立能楽堂を手がける建築家・大江宏による初の能楽堂建築である。その梅若能楽堂と渡り廊下でつながる旧梅若邸も近年の調査で、大江宏による設計であることが判明している。早い段階でモダニズムから一線を画して独自性を確立した大江建築の価値を見つめ直し、地域・文化資産としてどのようにまちに接続していくのか、事業的視点から人々の営みまで、幅広い視点で考える全4回のトークシリーズ。

見学・トークイベント

**2026年
2月8日**

大江建築から考える 事業で繋ぐ 建築の価値

藤原岳史 | 株式会社NOTE

熊坂友輝 | シマダアセットパートナーズ

福井信行 | クラシック

佐竹雄太 | アラウンドアーキテクチャー

公開作戦会議

2026年2月

梅若能楽堂・旧梅若邸を
どう活用していくか?

@なかなかの

会場

梅若能楽学院会館

東京都中野区東中野 2-6-14

主催：梅若能楽堂研究会、アラウンドアーキテクチャー
協力：公益財団法人 梅若会
協賛：21世紀工務店、廣瀬協力建築設計事務所

幕引

ご予約はこちら



<https://arar.peatix.com/>

One
Fes
tival